

平成26年第13回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成26年12月25日(木)午後1時50分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、長谷川教育長
- 4 説明のための出席者
池浦教育部長、笹川教育総務課長、久住子育て支援課長、樋山小中一貫教育推進課長、前澤教育センター長、清水教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認
平成26年第12回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報告
報第1号 平成26年度第3回三条市学校給食運営委員会会議録について
 - (3) その他
 - ア 三条市総合計画の策定について
 - イ 三条市議会12月定例会の概要について
 - ウ 小中一貫教育実施状況について(概要報告)
 - エ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認について
長沼委員長から平成26年第12回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 報告
報第1号 平成26年度第3回三条市学校給食運営委員会会議録について
笹川教育総務課長が説明
質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定
 - (3) その他
 - ア 三条市総合計画の策定について
池浦教育部長が説明
(長沼委員長)
小学校の統廃合の件ですが、やっぱり下地があるわけですかね。学校の父兄の方で統合したいなっていうような、動きはもう既にありますか。この1クラスっていうような学校では、そのような意見が出ておりますか。

(池浦教育部長)

今現在、具体なところで私どもが把握しているものは、お聞きしていないという状況でございますが、昨年度、下田地域の荒沢小学校、森町小学校の統廃合をやらせていただきましたが、当時の荒沢小学校につきましては、3学級しかない小学校、全部複式学級という中で、地域から一部のお声もいただいている中で統廃合を進めたという経緯もございます。

今後、複式学級になることが予想される学校もございますので、そういったところからは、これで良いのだろうかというような声は出てきて、そういう声もあるのではないかとということも予想されます。

いずれにいたしましても、先ほど担当の方で説明いたしました、やっぱり、少人数は少人数なりの良い教育の仕方というものがあるかと思えますけれども、片やどうしても、例えばスポーツで野球をやるとしても、サッカーをやるとしても、少人数というのは、どうしても物理的な制約などがございますので、今後、小中一貫教育の推進協議会的な組織の中で、そういった現状をお話していきたいということがまず第一かなというふうに思っています。

(渡辺委員)

非常に大ざっぱな今後の計画を説明していただいたんですが、その中で、45ページに子どもたちへの育ちの中で、どういうふうな支援をしていくかっていうことも、教育に関係する者にとっては非常に大事な部分かなと思っています。子どもたちに、やっぱりそういうふうな気持ちが、大人になったら子どもを育てたいと、そういうふうな育みをやるっていうのが非常に大事な教育の方策かなと思います。おそらく、全国ではそういう点でも、既に先進市町村があるかと思いますが、当然そういうところの情報収集も重要になってくるし、参加等も考えていくんじゃないかなと。

(池浦教育部長)

渡辺委員からの御指摘のとおりでございます、特に近年の虐待については、随時御報告させていただいているとおり、一般的に考える以上に厳しい現状になっているところがございますので、そういったところでは、特に事務局と折衝しながら十分に研究して、今後さらに、その部分に力を入れていきたいと思っています。

(須佐委員)

46ページの「多様な保育ニーズへの対応」という中で、休日の一時保育、一時預かりの拡充ということで、これは現に今やっているわけですか。それとも、これから始まるのでしょうか。

(久住子育て支援課長)

休日の一時保育は、現在も栄庁舎内のすまいるランドで、休日、日曜日、祝日に随時預かっています。また、保育所は毎日の入所ではなく、一時的に預かるというところがございま

す。

保育ニーズと書かせていただきましたが、働き方もいろいろと多様になってきておりまして、週に1日だけとか、2日だけでもさまざまな仕事で預かってほしいという方がいます。また、特に母親のリフレッシュのために預けるといのもいいんですけども、そうした働き方の多様化でも一時的な預かりのニーズは増えてきているというところから、拡充をしてまいりたいと考えております。

(長沼委員長)

それはとても評判がいいんですね。例えば、お産で帰ってこられた方が、上のお子さんを預けるとか、そういうことができるなんて思っていなかったのも、とてもありがたいという声はよくお聞きします。

病児、病後児の保育というのは、具体的にはどのようなものでしょうか。

(久住子育て支援課長)

例えばインフルエンザですとか、いろんな疾病にかかり、小学校や保育所には行けないというお子さんを預かるというもので、三条市はこの病児、病後児保育の実施が長年の課題でありました。病児、病後児になりますと、医療機関に委託という形が最良だということから、これまで検討をしてみたいところですが、今後、この保育について実施をしてみたいということで、書かせていただいたところです。

(長沼委員長)

やっと働き始めたお母さんの子どもが保育園に行きますと、まず、一通り病気をしますよね。そのたびに休ませてもらうのに、神経が疲れてしまったという話を聞いております。三条市ではないんですけども、知り合いが行ってる保育園は37度6分までは連れて行っていいというけど、37度6分って子どもはどんどん動きますから、37度6分だと思って連れていったら38度だから迎えに来てくれと。そうすると仕事がとても続けられないってということがありますので、この辺が、安心して1日だけでも仕事に穴をあけないでいられれば、仕事が続けられるっていう気持ちの面でも大きいものがある、そんなのではないのかなと思っております。

(池浦教育部長)

かなり具体的に詰まってきたということもありますので。

(長沼委員長)

そうですか。そのときは、お金はかかるんですか。

(久住子育て支援課長)

はい。こちらはもう一般の保育ではなく、別料金でいただくという形を。

(長沼委員長)

やっぱり、かなりの利用がありますか。

(久住子育て支援課長)

三条市はまだやってないんですけど、ほとんどの市町村が、病児、病後児保育をやっています。ただ、年間、必ず恒常的に子どもを預けるかといいますと、やはり冬場だったり、季節ごとに非常にばらつきがあるというところで、委託先の病院ですとか、そうしたところにとってはなかなか厳しい経営状況になっているところもあるというふうに聞いております。

(長沼委員長)

人口が減るというのに、私の知り合いの老人が転出いたしまして。それは、東京で働く娘さんたちが、とても子どもを見るのが大変で、お母さんが通っていられたんですけど、もう、そうはいかないというので転出されまして、大変大きな問題だと思っております。やっぱり、子育ての時期っていうのは手がいられますから、そういうことにいろんなことが必要になってくるんだと思いますが、どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

イ 三条市議会12月定例会の概要について

池浦教育部長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

ウ 小中一貫教育実施状況について（概要報告）

前澤教育センター長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

エ 次回教育委員会定例会の日程について

笹川教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

〔日時〕平成27年1月27日（火） 午後1時30分

〔会場〕三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 午後3時02分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子